



## あいさつ・交通安全キャンペーン お世話になりました。

11月11日(月)の朝、PTA役員の方々にお世話になり、あいさつ・交通安全キャンペーンが行われました。通学路の重点指導箇所に来ていただき、子どもたちに「おはようございます」と、あいさつの言葉をかけていただきました。当日の朝は、三重県警察の方々や地区市民センターの館長様にも加わっていただき、子どもたちの登校の様子を見守っていただきました。

人との出会いは、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」というあいさつから始まります。人と人がつながっていく(良好な関係を築いていく)上で、あいさつはとても大切な意味を持っています。「声をかけても、なかなか子どもたちがあいさつをしてくれない」という声も、地域の方々や保護者の皆様から寄せられています。日頃から「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と、元気にあいさつのできる水沢っ子でいてほしいと思います。



## 地域学習に出かけました。(2年生)

11月7日(木)、2年生が地域学習として、「がぶせ茶 cafe」に見学に行きました。子どもたちは道路を挟んだ、向かい側にある茶畑に行って、防霜ファンの役割やかぶせ茶の育て方について教えていただきました。「がぶせ茶 cafe」では、店内に入らせてもらい、特別に、かぶせ茶を試飲させていただきました。子どもたちは、あたたかいお茶を飲み、「甘くておいしい」と嬉しそうに話していました。最後に茶葉をつくる工場を見せていただきました。茶葉ができるまでの工程を教えてください、「へー、知らなかった」と、興味津々に話を聴く姿がありました。



本校では、現在、1~6年生、それぞれの学年において、何かしらのお茶に関する学習内容を入れ、系統立てていきたいと整理を進めています。年々お茶産業に従事するご家庭が減少し、子どもたちの中にも、地域のお茶産業への関心が薄れていると感じることがあります。子どもたちには、学習を通じて、面前に広がる茶畑の光景を大切に、これからも、ふるさとに親しみや誇りを持ち、ふるさとを大切に想う心が育ってほしいと願っています。

## 後期委員の認証式、さまざまな表彰を行いました。

11月11日(月)の1限目に、後期委員会委員長、学級委員の認証式を行いました。また、「読書感想文」「三四小中社会科展」「三四小中科学展」の表彰式を行いました。

認証式では、名前を呼ばれたら、大きな返事をして立つ子が多く、代表委員となった子どもたちから、「よしやるぞっ」という意気込みが感じ取れました。見ていて頼もしかったです。また、さまざまなコンクールや展示に作品を提出し、優秀と認められた子どもたちに対しての表彰を行いました。表彰後には、子どもたちから大きな拍手が起こっていました。こういった姿は、一緒に過ごしているなかまに元気を与え、「また、次もがんばろう」という意欲へとつながります。「がんばっている人をたたえる」「がんばろうとしている人を拍手で応援し、自分も協力する」といった姿勢は、とても大切なことです。



学校は、先生、子ども、保護者、地域の方々、みんなが同じ方向を向いて創(つく)っていくものです。皆さんの代表となる後期委員会委員長、学級委員を中心に、周りにいる皆さんが協力して、「やさしい、あたたかい雰囲気のある学校」を今後もつくってほしいと思います。

## 第63回三四小学校音楽会が近づいてきました。

11月15日(金)に、「第63回三四小学校音楽会」が開催されます。これまで4、5年生は、地区文化祭や校内の全校集会でも歌声を披露してきました。当日は、四日市市文化会館大ホールで、午前中のプログラムNO.3として登場します。多くの他校の児童や観客がいて、緊張するとは思いますが、音楽会全体がよいものとなるように、大きな声を出して元気に歌い切ってほしいと思います。



リハーサルでは、子どもたちの聴く姿勢がとても素敵で、特に6年生は、全員がしっかりと顔を上げ、歌声を聴いていました。なかまの頑張りをしっかりと受け止められるいい伝統として受け継いでいきましょう。(文責 北住 昌文)